

231乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	10~11	道路に面した車両周辺で積み下ろし作業中に、当該車両と離合する相手方車両と接触し、交通事故に遭った。	48	17	40301	50~ 99
2	2017	12	9~10	自家用車で通勤し、北側駐車場に駐車した際、助手席に置いてあったバッグが倒れ、中の小物が助手席の足元に散乱したので、車を出て助手席側のドアを開け、散乱したバッグの中身を拾った。中身を拾い終え、左手で助手席のドアを閉めようとした際、体を支えるためにドア枠に右手をついたとき、右手親指がドアの開口部に残っていることに気づかずに閉め、右手親指を負傷した。	65	7	10109	10~ 29
3	2017	12	12~13	事故現場（交差点）の約100m手前で、走行車線・追越車線ともに渋滞していた。右前方の車両の進入を予測し、減速したが、右折のため進入してきた相手車が、大回りして走行車線側に二車線道路を横断するように進入してきた。急ブレーキで避けきれず、相手車の左前方フェンダーと当車前輪が接触し、左側へ転倒し、相手車は当車の前輪を踏み越えて停車した。	52	17	170209	100 ~ 299
4	2017	12	13~14	駅北口にて実車となり、小学校へ向かう途中、信号なしの交差点を通過するとき、左交差点道路より一旦停止不履行の一般車が、ノーブレーキで当社車両に衝突した。	53	17	40201	50~ 99
				配達業務のため、四輪車両で走行中、道路が渋滞しており、停車していたところへ後方車から追突され、その勢いで、前				500

13	2017	11	18～ 19	当方の自動二輪バイクが直進中、左側（敷地内）から相手車両が突然道路内に進入してきて当方（バイク）の左側面中央部と相手（軽四）の前部中央部が衝突し、当方はバイク共に反対車線に飛ばされた。その際、両手両膝を痛めた。	26	17	110101	100 ～ 299
14	2017	11	13～ 14	当方、ピザの宅配中、片側一車線の道路を原付で直進していた。当方前方不注意のため、道路左側の縁石に後輪が当たり、バランスを崩し、縁石の上の歩道から民家の門に激突した。当方歩道から車道に戻った後、縁石で転倒した。	25	17	80209	10～ 29
15	2017	11	14～ 15	荷物を積み込む時、荷物を持ったまま15cm程の段差を降りた時、誤って左足を捻ってしまった。痛みが酷くなっていったので病院に行った。	23	2	80205	30～ 49
16	2017	11	17～ 18	デイサービスの送迎を終え、センターへ戻る途中、交差点で右側から出て来た車と接触した。ブレーキを掛けたが間に合わなかった。	28	17	130201	100 ～ 299
17	2017	11	11～ 12	顧客訪問後、移動走行中に前方駐車場からバックで出て来た相手方車に追突され負傷した。	50	17	90103	300 ～ 499
18	2017	10	16～ 17	バイクで夕刊配達していた際、横の道路（幅1m弱）から誤って崖下（高さ約1.5m）にバイクごと転落し、負傷した。	52	17	80205	10～ 29
19	2017	10	10～ 11	雨で濡れた道路を走行中、下り坂の路面に油があり、ハンドルが利かず転倒した。	48	17	110101	50～ 99
20	2017	10	16～ 17	イベント会場設営業務のため、社用車で会場への出張移動中、5.1キロポスト付近を走行していた。濡れた路面で後輪が滑り、壁面やガードレールに複数回衝突し、車内で首・腰・背中を強打したことにより頸椎捻挫、腰部打撲傷、背部打撲傷を負った。	32	17	170209	100 ～ 299
				電柱工事に伴う警備業務のために、会社へ移動し打ち合わせ				

21	2017	10	8～9	を行った後、現場まで50ccバイクで向かっていたところ、T字路で西側から出てきた乗用車と出会い頭に衝突し、転倒した。	43	17	170201	10～ 29
22	2017	10	3～4	朝新聞販売所を出発し配達中、バイクの前輪パンクによりバランスを失い転倒。路上に倒れた時に、左鎖骨骨幹部を骨折した。	68	17	80205	10～ 29
23	2017	10	23～ 24	タクシーに乗務中、交差点にて赤信号停車中、脇見運転の車輛が輛に追突。車輛が勢いにて当車に追突。当車はその勢いにて車輛に追突した際その衝撃にて運転手が負傷したもの。	57	17	40201	100 ～ 299
24	2017	10	9～ 10	公園入口の車両止めの鍵を外しているときに、自車のサイドブレーキが甘く、またゆるやかな坂道だったため、車が前進し始めた。車両に背を向けて鍵を外していて又外しづらく手こずっており背後に気を使っていなかった。徐々に車両が当運転手の方へ進み、車両止めと車両に挟まれる様に当運転手に衝突した。	36	6	150103	50～ 99
25	2017	10	13～ 14	お客様宅を訪問後、車で帰社途上の事故。走行中、鞆の荷物が気になってわき見をしてしまい、前車が減速したことに気がつくのが遅れ、焦ってアクセルを踏み込んで勢いよく衝突した。衝突で舌を噛んでしまった。疾病部位は頸椎捻挫、舌の裂傷、右足付け根、右足首、腰、両腕の痛み、めまい、吐き気。	45	17	90103	30～ 49
26	2017	10	8～9	交差点において、現場に向かって走行中、右折して来た車両（コンクリートミキサー車）が信号を無理したため衝突してしまい、頭部損傷によりドクターヘリで搬送された。	37	17	30199	50～ 99
27	2017	9	11～ 12	勤務中路上にて、公用バイクで集金先から帰行中、前方左折車両が左折開始時に前方車両左方後部と当方バイク右ハンドル付近が接触、転倒し、負傷したものである。	61	17	90101	10～ 29
				新聞配達中ぐらつき、バイクごと左から川へ落ちた、自力で				

28	2017	9	4~5	はい上がったが、左の肩甲骨あたりが痛くなった。	63	17	80205	1~9
29	2017	9	5~6	50ccスクーターにて朝刊配達を終えて店に戻る途中、野良猫が急に道路に飛び出してきた為、とっさに避けようと急ハンドルを切った際にバランスを崩して左側に転倒し左足を強打し、はく離骨折する負傷となったものである。	25	17	80205	10~ 29
30	2017	9	14~ 15	被災者がセンターラインのある県道を直進中、停止線のある左の側道より軽バン（相手方）が進入しようとしてくるのを認識した。その軽バンが減速し、停止線で停止したのを確認したため、そのまま走行していると、ミラーにその軽バンが映ったので、とっさに右にハンドルをきってかわそうとしたが、衝突し、当該負傷に至る。相手方は停止線で停止はしたものの、左右を確認せず、発進したようです。	46	17	10806	1~9
31	2017	9	2~3	交差点近くをトラックにて走行中、眠気がきたのと、脇見をしてしまったことで、信号が赤になっているのに気付かず、前方車両に追突した。	34	17	40301	1~9
32	2017	9	11~ 12	軽四車両で配達集荷先へ移動中、信号待ちで停車していたところ、相手車両が前方不注意で当車後部へ追突してきた。	39	17	110101	300 ~ 499
33	2017	9	15~ 16	上記被災場所工事現場のゲートから工事車両を入れる為、一般車両を一旦停止させ完全に停止したのを確認したので、工事車両の誘導し始め、工事車両が現場内に入りきっていないにもかかわらず、停止させていた一般車両が動き出し、該当警備員の足を引き逃走されたものである。	52	17	170201	50~ 99
34	2017	9	3~4	バイクを使用して朝刊配達作業中、道幅の狭い下り坂の道路を走行中に、早朝夜明け前で足元が見えづらく、バランスをくずしてバイクごと右側に転倒して頭部位、前頭部位、右手部位、右肘部位、右膝部位を路面に強打して痛み受傷したも	63	17	80205	10~ 29

49	2017	7	23~24	厨房で配送を行っていた際、配送番重に右手薬指をぶつけた。	51	17	40201	~ 299
50	2017	7	10~11	被災運転者は航空燃料送油沿線を車両巡回中、交差する道路を横断する際に一時停止の標識に従い停止線で停止した後、前方に設置されたミラーで左右を確認しようとしたが右側が見えなかったため注意をしてゆっくりと前進して右側を確認しようとしたら、回送路線バスが迫って来ており回避する間もなく衝突し負傷したものの。	37	17	170201	1000 ~ 9999
51	2017	7	3~4	朝刊の新聞をバイクでマンション区域の配達を終え、次の配達区域に向かう途中、駅西出口交差点にさしかかり右折しようとしたとき、直進してきた対向車と接触、対向車のボンネットに体が跳ね上がってしまいフロントガラスに頭を打ち受傷したものの。	32	17	80205	50~ 99
52	2017	7	13~14	午前の配達を終えて帰局途中、左折して一方通行道路に入ろうとした際、道路左側から横断しようとして飛び出してきた自転車を発見し、衝突を避けようとハンドルを左に切ったところ、バランスを崩し転倒、負傷したものの。	18	17	110101	300 ~ 499
53	2017	6	10~11	仕事の打ち合わせの帰り道で、軽自動車に同僚を乗せ運転中、車の前にトラックが割り込んで来たため避けようと、急ブレーキを掛けたがハンドル操作が出来ず、壁等にぶつかり負傷した。	22	17	170209	10~ 29
54	2017	6	15~16	交差点東200m先の道路上で渋滞停止中、後方より追突されたものである。	60	17	40201	100 ~ 299
55	2017	6	14~15	利用者宅へ訪問する途中、十字路の交差点をバイクで走行中に、左側から出て来た乗用車と接触した際に転倒し、左肩脱臼、靭帯断裂（2ヶ所）が発生した。	42	17	130201	10~ 29

56	2017	6	12～ 13	信号のない交差点を直進のため時速30km程度でバイクに乗って進入したところ、右側から交差点直進のため車両が進入してきた。衝突を避ける為、左にハンドルを切ったが、相手車両左前方に衝突し、右橈骨遠位端骨折、右大腿左挫創を負った。（当方が優先道路であった。）	24	17	90101	500 ～ 999
57	2017	6	15～ 16	県道で対向車が中央線を越え、運転手側のドアに衝突してきた。相手は救護もせず逃走して行った。運転手と助手席者は、ガラスの破片が目に入り、身動きがとれず、病院に救急車で搬送された。	59	17	170209	50～ 99
58	2017	6	14～ 15	工場内にて自動車清掃を行っていた。リアタイヤの上に乗って、車の屋根を清掃していたところ、雨のためタイヤが滑りやすくなっており、滑落してしまった。痛みはあったが、そのまま最後まで勤務したが、痛みがひかなかった。	34	1	170209	10～ 29
59	2017	6	10～ 11	片側3分の2を規制する現場で、反対車線にもはみ出すので、一人で片側交互通行の誘導を実施した。規制側の車両に停止の合図を出した後、反対車線の走行車両を確認するため、後ろ向きになった。そして振り向いた瞬間に、車が被災隊員に接触し倒れたところ、左足を轢かれた。その場から救急車で搬送された。	44	17	170201	100 ～ 299
60	2017	6	14～ 15	ご利用者宅へ向かうため、公用車輛にて走行中、下り坂を下りきり、ゆるやかな右カーブを曲がりきる付近でセンターラインをオーバーしてしまい、対向車線を走行していた貨物トラック後部に接触し、貨物トラックの後を走行していたダンプと正面衝突する。その後、救急車にて病院へ救急搬送される。	57	17	130201	10～ 29
61	2017	5	14～ 15	取引先から次の取引先に行く営業車で移動中の信号停車中に、後ろからぶつかられ、頸椎捻挫、腰部打撲を負った。	43	17	11709	1～9
				被災者は、中型バイク（250cc）で通勤中、病院の敷地内にあ				

62	2017	5	8～9	る駐車場にバイクを停めて降りた際にスタンドがうまく出ていたなかった為、倒れてきたバイクに右下肢が当たり、バイクの重みに耐え切れず尻もちをついた。バイクを起こそうとした際も臀部・腰・右脇腹に痛みが走り、勤務不能となった。	66	6	130101	100 ～ 299
63	2017	5	7～8	被災場所において、バスを停車させてトイレに行くため、慌てて前席から降車したところ、左足が社内のステップに引っ掛かりバランスを崩し、左脹脛を負傷する。	46	2	40202	100 ～ 299
64	2017	5	19～ 20	走行中、追越車線に停車中の事故車両に接触し、スピンしてガードレールに衝突した。	26	17	80409	50～ 99
65	2017	5	7～8	実車中に信号待ちをしていたところ、後方より来た乗用車が雨のためスリップし、当方車両の後部に追突した。お客様は特に無事であったが、乗務員は衝撃で頭部、頸椎を負傷した。	58	6	40201	50～ 99
66	2017	5	14～ 15	配達するため敷地内にバイクを停車し、エンジンを切った時にギヤを入れたままだったことに気が付き、エンジンを再始動するためサイドスタンドを立ててバイクに座りエンジンをかけた。その際に無意識にサイドスタンドを戻していたが、そのことを確認せず降りたため、バイクとともに左側へ転倒した。左足をバイクと地面（コンクリート）に挟まれ強打し骨折した。	50	2	110101	500 ～ 999
67	2017	5	16～ 17	緩やかな右カーブ手前を走行中の車に同乗していたところ、相手方がセンターラインを越えて衝突して来た。	52	17	90103	10～ 29
68	2017	4	14～ 15	お客様の自宅付近の上り坂にて、積載車にて移動した車両を降ろす際に車両止めやフックを外し、荷台を下げた際に車両が荷台からずれ落ちたとき、荷台に手を置いた場所へ車両の右前タイヤが当たり（挟まり）負傷した。	53	7	80202	100 ～ 299
				新聞配達中、バイクで下り坂を走行中にハンドル操作を誤				10～

69	2017	4	5~6	り、ハンドルが壁にあたり転倒し、右足を打撲した。	84	17	80205	29
70	2017	4	11~ 12	お客様宅より住宅街から道路へと出る際に前輪（単車）が小石を踏み、バランスを崩して転倒し、鎖骨骨折及び打撲を負う。	52	2	90103	—
71	2017	4	12~ 13	高速道路出口一般道合流地点にて、社用車運転中高速道路を降り一般道に合流する際、一旦停止して右後方を確認中に後方から追突された。	43	17	80409	1~9
72	2017	4	12~ 13	当社採取場から事務所機材センターに帰る途中で車で走行中に、反対車線に入り、右側の電柱に正面衝突して車は全損した。	59	17	20209	100 ~ 299
73	2017	4	13~ 14	自社店内で、お客様からお預かりしているオートバイのエンジンをかける際、キックペダルの跳ね返りによって足を強打ち、足首全体（特に足の甲）が大きく腫れた。	48	6	11701	1~9
74	2017	4	11~ 12	お客様宅を車で訪問する途中、交差点付近を走行中に飛び出してきた野良猫を避けようとして電柱に激突し、首・背中・腰のむち打ちを負った。	55	17	90103	50~ 99
75	2017	4	16~ 17	ケアマネジャーとして別拠点にいる利用者様にデイサービス利用票を届けるため駐車場に車を止めようとした際、ブレーキとアクセルを踏み間違えて足が滑り（原因不明）、車を支障物にぶつけ停止した。その衝撃でシートベルトに胸をぶつけて骨折した。	60	17	130201	30~ 49
76	2017	3	6~7	路上に於いてタクシーに乗務運転中、脇見をしたため中央分離帯に衝突し、右足を骨折する。	65	17	40201	100 ~ 299
77	2017	3	0~1	北向きに走行し、右手にある目的地に入ろうと右折したところ、直進してきた反対走行の相手車両と衝突した。衝突の際、自分が運転していた車のハンドルに胸を強打ちした。	69	17	40201	50~ 99

78	2017	3	14~15	信号待ちで停車中、後方よりトラックに追突され負傷した。	53	17	40201	100 ~ 299
79	2017	3	14~15	社用車を運転していた際、合流しようとして交差点で一時停止していたところ、相手方車両に後方より追突された。	48	17	110101	30~ 49
80	2017	3	16~17	現場から会社に戻る途中、優先道路を20~30キロの速度で走行していたところ、相手が一時停止せず走行してきたため衝突してしまった。その際、車は民家の壁と相手の車に挟まれ停止し、エアバッグが作動したが胸を強打して骨折した。	40	17	30209	10~ 29
81	2017	3	12~13	交差点で両車共に一時停止の規制がなく、お互い減速することもなく進入し衝突した。	53	17	40201	100 ~ 299
82	2017	3	17~18	配達先敷地内で郵便受箱の前にバイクを止め、バイクにまたがったまま郵便物を入れようとしたところ、地面についた左足でバイクの重心を支えきれず、左下に倒れ込みバイクと地面に挟まれ、左足を負傷した。	19	2	110101	100 ~ 299
83	2017	3	15~16	納品先で車のトランクから納品の品を下ろしているとき、同僚が本人に気づかず、誤ってドアを閉めてしまったため、左頭部にぶつかった。	37	6	130201	1~9
84	2017	2	10~11	オフィスから約束のお客様宅へ車で訪問する際の事故である。交差点で赤信号停車中、追突された。4台の玉突き事故で自身は先頭車であった。事故後はアポをキャンセルした。首、腰のむち打ち、頭痛、吐き気あり。事故後、救急搬送された。	36	17	90103	30~ 49
85	2017	2	6~7	新聞配達のため自転車で渡っていた時、東から来た車と衝突し頭部を負傷した。現在ICUにて治療中。	69	17	80205	30~ 49
86	2017	2	16~17	勤務中、帰苑の送迎の際、送迎車のリフトの動作中に足元を	28	7	130201	—

				挟んでしまった。（リフトと地面の間に挟まれた。）				
87	2017	2	21~22	作業場所から自宅へ帰宅中に、交差点上で、青信号で右折レーンに入り一時停止をし、直進車が来ていないことを確認してから交差点に進入し、歩行者を渡らせるため横断歩道手前まで進入し停車したところ、直進車が来て衝突した。その衝撃で頭を打って気を失い、救急搬送された。	33	17	170209	100 ~ 299
88	2017	2	23~24	被災者が道路上で交通誘導警備中に、片側交互通行の工事帯側から走行してきたバイクと道路を横断していた自転車が衝突し、そのまま被災者の方へ来たため、避けきれず、巻き込まれた。	68	17	170201	30~ 49
89	2017	2	17~18	早出したため夕方に退社し会社の駐車場から通勤に使用している自身のオートバイを押している時によろけて倒れた。	67	7	170209	10~ 29
90	2017	2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手の自動車が交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突し、自車に乗っていた5名が負傷した。	21	17	30302	1~9
91	2017	2	12~13	午前中の配達を終え帰局途中、前方信号が赤のため前方の車両に続いて停止したところ、後方から走行してきた車両に追突された。	34	17	110101	100 ~ 299
92	2017	2	15~16	夕刊配達中に、バイクで交差点で右折待ち停車中、相手方の軽自動車が追突してきた。その衝撃で転倒し受傷した。	65	17	80205	—
93	2017	1	16~ 17	農作業を終えて、会社の車で収穫した物を車から降ろすため事務所に帰る途中、信号の無い交差点で、相手の車が見えにくかった事もありスピードをゆるめて進入したが、互いの確認不足により相手方の車にぶつけられてしまった。	31	17	60101	10~ 29
				出張理容先から帰社中、駐車場にトイレ休憩のため立ち寄っ				

94	2017	1	16~ 17	たところ、2tトラックの助手席（地面より座面まで高さ1.1メートル）から降りる際に滑って、左ひじからコンクリートの地面に落ち、強打して負傷した。	65	1	80301	1~9
95	2017	1	9~ 10	物件視察へ向かう途中、路上を自転車でゆっくりと走行中、T字路手前の看板から交わる道路を確認、停止線上に車輦がなかった為、交差点へ侵入したところ、加害者タクシーが出てきた為、ぶつかり左ヒザを強く打ち、腰・手・首に衝撃を受け負傷した。	42	17	80409	—
96	2017	1	4~5	バイクにて朝刊配達中、降雪の為、スリップして転倒した。	31	17	80205	1~9
97	2017	1	7~8	凍結により滑り、対向車線へはみ出し対向車と正面衝突し、後続車2台が後ろからぶつかってきた。	68	17	40201	10~ 29
98	2017	1	8~9	最初の利用者宅での仕事を終え、次の利用者宅の介護サービスに向かっている途中、前方の自動車が路肩に停めてあったトラックを避けて走行した所、前方から車が進入してきて、急ブレーキをかけ、自分が運転していたバイクのブレーキが間に合わず、ぶつかってしまい負傷した。	50	17	130201	10~ 29
99	2017	1	13~ 14	従業員用業務連絡バスの右後方座席に乗車し、訓練センターへ移動する際、当該場所交差点の左側信号機に当該バスが追突し、全身打撲と右腕を骨折する怪我を負った。	52	17	170202	500 ~ 999
100	2017	1	10~ 11	補修工事のため、下り車線に工事帯がある片側交互通行の上り線で交通誘導警備中、上り線の車輦を停止誘導し同僚警備員が下り線の車輦を上り線に流していたところ、流された加害車輦が工事帯を避けて上り車線を通行し、工事帯を過ぎても下り車線側に戻らず上り車線を直進してきたため、その車輦に轢かれてしまった。	35	17	170201	50~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。